

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2019-120931(P2019-120931A)

【公開日】令和1年7月22日(2019.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-029

【出願番号】特願2018-228984(P2018-228984)

【国際特許分類】

G 02 F 1/13 (2006.01)

G 01 J 3/45 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/13 5 0 5

G 01 J 3/45

G 02 F 1/13357

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月6日(2021.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学デバイスであって、

液晶可変リターダ(L C V R)と、

前記 L C V R に光学的に結合された射出瞳拡張器と、

前記 L C V R の異なる空間領域をカバーする 2 つ又はそれより多数の電極対と、
を備え、

前記射出瞳拡張器は、

基準光源から基準光を受け取る少なくとも 1 つの光学入力フィーチャと、

前記基準光源からの前記基準光を受け取り、前記基準光を前記 L C V R の 1 つ以上の
空間的に分離された領域に拡張するように結合された、1 つ以上の光結合素子と、
を備え、

拡張された前記基準光により行われる空間依存性リターダンス測定は、前記 2 つ又はそれ
より多数の電極対の各々に印加される別個のリターダンス制御信号を形成するのに用いられ
る、光学デバイス。

【請求項2】

前記入力フィーチャおよび前記光結合素子のうちの少なくとも 1 つは、回折光学素子を
備える、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

装置であって、

基準光を提供する光源と、

光学デバイスであって、

液晶可変リターダ(L C V R)と、

前記 L C V R に光学的に結合された射出瞳拡張器と、

前記 L C V R の異なる空間領域をカバーする 2 つ又はそれより多数の電極対と、を備え
、

前記射出瞳拡張器は、

前記光源から前記基準光を受け取る少なくとも1つの光学入力フィーチャと、

前記光源から前記基準光を受け取り、前記基準光を前記LCVRの1つ以上の空間的に分離された領域に拡張するように結合された、1つ以上の光結合素子と、

を備える、射出瞳拡張器と、を備える、光学デバイスと、

前記LCVRを通過する前記拡張された基準光を検出し、それに応答して電気信号を発生するように整えられた、焦点面アレイと、

前記焦点面アレイに結合された制御器であって、前記制御器は、前記電気信号に基づいて前記LCVRの空間依存性リターダンスを決定し、前記2つ又はそれより多数の電極対の各々に別個のリターダンス制御信号を印加するように構成され、前記別個の制御信号は前記空間依存性リターダンスの測定に基づくものである、制御器と、を備える、装置。

【請求項4】

前記光学デバイスの各々第1および第2の側に第1および第2の偏光子をさらに備え、前記制御器は、前記LCVRを横切る可変電圧を印加し、前記LCVRを通過する画像に作用する時変リターダンスを作るよう構成され、前記偏光子および前記LCVRを通過する前記画像は、前記焦点面アレイを介して検出されたインターフェログラムを形成する、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記基準光は、単色の実質的にコリメートされた光を含む、請求項3に記載の装置。